

G3 のツイッター その1

烈剛河内 竹井 保満

朝夕がめっきり冷えてきて、家の前の叢（くさむら）から虫が最後の歌を集（すだ）きます。

♪ タベ蚯蚓（みみず）の鳴き声聞いた、あれは螻蛄（けら）だよ、お螻蛄だよ、お螻蛄なぜなくアンヨが寒い、足袋がないから鳴くんだよ、お螻蛄にあげよか福助足袋を、小さいこはぜが、ちよいと光る ♪

懐かしい、足袋屋さんのコマーシャルソングで、螻蛄が可愛く表現されています。然し、昔の人は、螻蛄が害虫なので、良い印象が無かった様です。

「螻蛄の七芸」と言うと多芸の芸人を貶める諺です。螻蛄は、空を飛んだり、地上や土の中を走り回ったり、水上や水中を自在に動き、多芸の持ち主ですが、鳥ほどは飛べない、魚ほどは泳げないなどと、多芸でも、特に優れた芸がない芸人や、器用貧乏の人を揶揄する言葉です。

10月5日 石川県の金沢市で開催された、全日本マスターズ投擲5種競技に出席しました。前記の螻蛄ではないですが、5種目の投擲で其々の獲得の点数の合計により争います。砲丸投げ、円盤投げ、やり投げ、ハンマー投げ、それに重量挙げです。当日は台風18号の余波で冷たい雨の中の競技に成りました。下着まで濡れて寒く、風まで加わり、脂肪の少ない年寄りには体の芯から凍てつきました。パワーリフティングで鍛えた力だけを武器にした我武者羅な戦法は、悪条件の下には通じなくて、頂きに立てませんでした。5年前に初参加して以来、敵なしの戦いで、孤高のアスリートと、ほくそ笑んでおりましたが、所詮は「鳥なき里の蝙蝠」であったと痛感しています。

齊藤茂太こと「モタ」さんは、人は頭脳と体は使わなくなると錆びつくと、闘病の最後まで頑張っておられました。私も、もう十年は活躍したいと思っておりますので、今からでも、スポーツの研修会に参加して、たとえ螻蛄と言われようと、技と力で数々の栄光を勝ち取りたいと思っています。

9月13日に、今年2回目のテレビが取材に来ました。「すごい高齢者大集合」という番組で、敬老の日の15日に放映されました。やはりディレクターの計画で、珍しい高齢者を集めただけでのありふれた企画でした。またまた暗い気持ちになりました。年を取った力持ちというだけでは見世物と同じです。生意気のようなのですが、90歳を超えて、孤高のアスリートに一步でも近づかなければ、テレビには出演しないつもりです。